

インフォシス、ベルギー郵便（Bpost）と協力し、郵政のセキュリティを改善

「インフォシス・サイバー・ネクスト」プラットフォームがパロアルトネットワークス社と共に

Bpost のクラウド変革の一環としてセキュリティ体制を強化

ベンガルール（インド）、2022年9月13日：次世代デジタルサービス・コンサルティング世界大手の[インフォシス](#)（NSE, BSE, NYSE: INFY）は本日、ベルギーの郵便事業大手で欧州で成長中の小包・オムニコマース物流パートナーであるベルギー郵便（[Bpost](#)）と協力して、クラウド環境を確保し、Bpost の郵便配達・物流サービス向けに強固なサイバー・レジリエンスを構築すると発表しました。郵政業界が巧妙なサイバー脅威にさらされても、インフォシスが、サイバーセキュリティ世界大手の[パロアルトネットワークス](#) と共に、Bpost が不審なセキュリティ・イベントを発見し早急に対応できるようなソリューションを装備します。

インフォシスがカスタマイズしたクラウド SecOps デリバリティモデルにより、インフォシスは Bpost のクラウド変革の取り組みをしっかりと加速させました。本モデルは、「インフォシス・サイバー・ネクスト」プラットフォームを活用し、Bpost の Azure や AWS クラウドセキュリティ体制を改善するもので、それがもたらす利点には、24 時間体制のセキュリティ監視、セキュリティ・アナリティクス、脅威インテリジェンス、エンドポイント検出や脅威対応などの最先端のセキュリティ制御、脆弱性管理、虚偽不正管理が含まれます。インシデントへの対応として、インフォシスは、完全自動対応作戦帳のほか、未来の同様の脅威を防止する AI 主導の予測を備えたパロアルトネットワークスの Cortex XSOAR を導入しました。パロアルトネットワークスは Bpost がクラウド財産のセキュリティをさらに強化し顧客体験を向上できる新しい次世代セキュリティ・ソリューションも提供します。

インフォシス、サイバープラクティス責任者、情報セキュリティ最高責任者（CISO）の Vishal Salvi は「当社の顧客は、とりわけ事業に不可欠なクラウド変革について、インフォシスが健全なサイバーセキュリティ能力をもたらしてくれると信頼を寄せています。パロアルトネットワークスの強みと弊社独自のサービス基盤の製品群を組み合わせることで、目まぐるしく変化する脅威環境を乗り切るのに最も効果的な経路を Bpost に備えることができると確信しています。私たちの提携関係は、Bpost がサイバーセキュリティ成熟度を次世代へ飛躍させるのに寄与します。」と述べました。



Bpost の CISO, Rony Monnaie 氏は、「当社がクラウド変革に着手するなか、インフォシスは Bpost の環境を保護し、全体のセキュリティ体制を改善するために熟考された複数のサイバーセキュリティ構想を進めました。今日、郵便・小包を配達・追跡するにあたり、当社の従業員と顧客の両方が現在我々が持つ安全な基盤から恩恵を得ています。」と語りました。

パロアルトネットワークス、SVP エコシステムズの Don Jones 氏は、「使い易さは、重要な機能ですが、迅速かつ正確にセキュリティ・イベントを認識し対応する AI やオートメーションを駆使することもまた重要です。インフォシスと共に、事業変革の中核であるサイバーセキュリティを大切に受け止める組織である Bpost をサポートすることを嬉しく思います。」として

Bpost グループについて

Bpost はベルギーの郵便事業大手で、欧州、北米、アジアで成長中の小包・オムニコマース物流パートナー。ベルギーや世界に散らばる従業員 36,000 人が、郵便・小包を数百万人の玄関前に届け、電子商業の物流サービスを提供することで、消費者、企業、政府をつないでいます。人と地球にやさしい会社として、私たちは顧客や株主のために長期的に持続可能な価値を創造します。2021 年の Bpost の粗利益は 43 億 3370 万ユーロでした。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーで、30 万人強の社員が人間の潜在性を拡大し、人、企業、地域社会のための次の事業機会を構築するべく、日夜取り組んでいます。グローバル企業のシステム・業務管理における 40 年以上の実績に基づき、インフォシスは専門家として世界 50 か国以上で顧客をクラウドによるデジタル変革へと導いています。企業に対して AI によるコアを付与し、大規模なアジャイルデジタルで事業を強化するとともに、デジタル・スキル、専門知識、及びインフォシスのイノベーション・エコシステムから生まれるアイデアを通して常に自ら学習することで、継続的な改善を進めています。当社は、包括的な職場で多様な人材が輝く、健全に統治され環境的に持続可能な組織であることに全力を注いでいます。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が御社の次の未来への歩みにどのように貢献できるか、詳細は www.infosys.com/jp をご覧ください。

免責条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「免責」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効



果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書はwww.sec.govでご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com